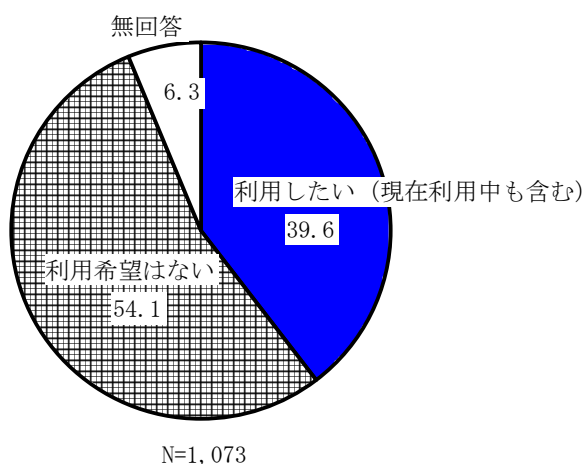


## 〔2〕平日の保育サービスに対する利用意向

### (1) 利用希望の有無

問10 平日、調査対象のお子さんについて、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望は現在ありますか。利用したい場合、日数や時間帯、希望するサービスについて、お答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

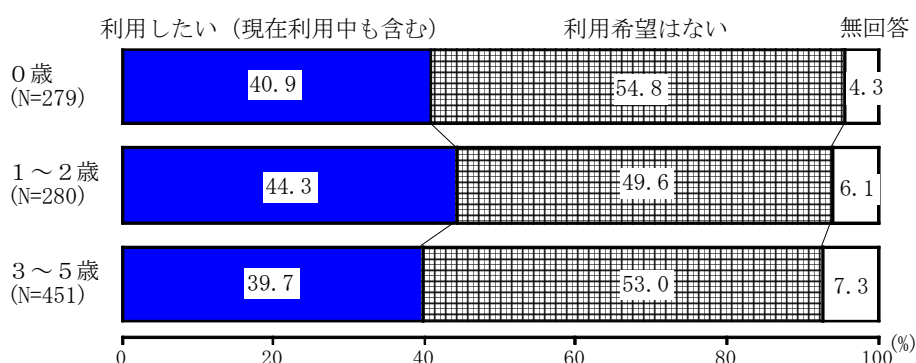
図表 2-1-1



平日の保育サービスについては、「利用希望はない」が54.1%に対し、「利用したい」は39.6%となっている（図表 2-1-1）。

平日の保育サービスの利用意向を子どもの年齢別で見ると、いずれの年代も4割前後は利用希望をもっており、年齢による利用意向の違いはみられない（図表 2-1-2）。

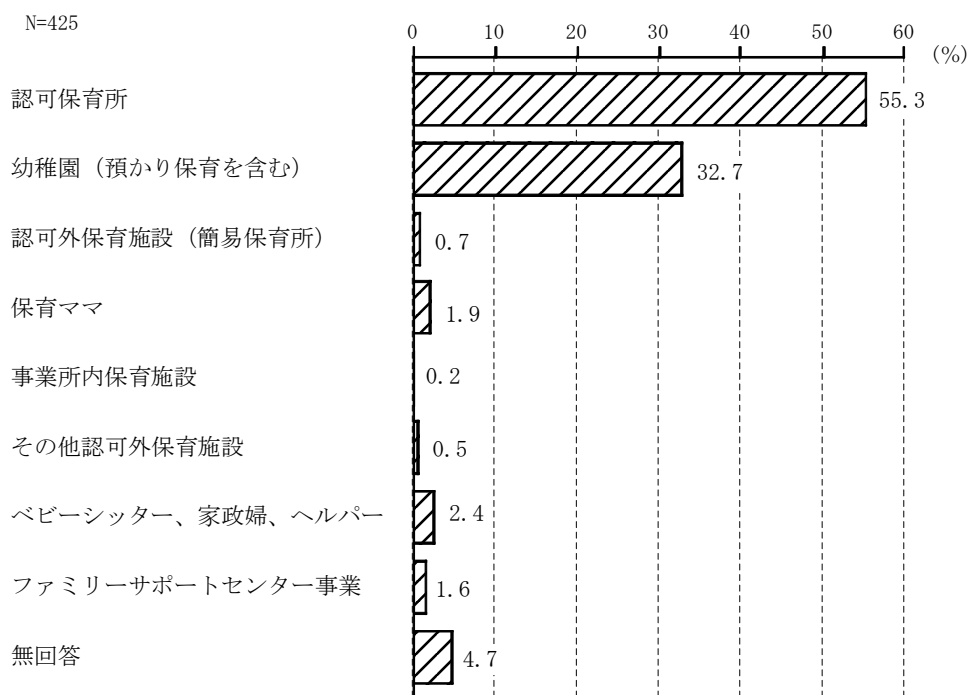
図表 2-1-2 利用希望の有無（子どもの年齢別）



## (2) 希望するサービス

問10 平日、調査対象のお子さんについて、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望は現在ありますか。利用したい場合、日数や時間帯、希望するサービスについて、お答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 2-2-1

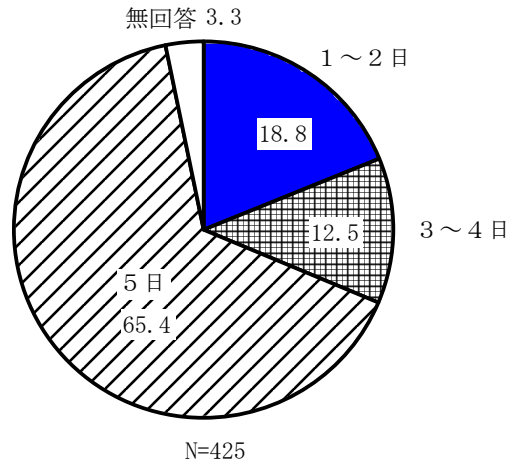


希望する保育サービスは、「認可保育所」が 55.3%で最も多く、次いで「幼稚園（預かり保育を含む）」の 32.7%となっている（図表 2-2-1）。

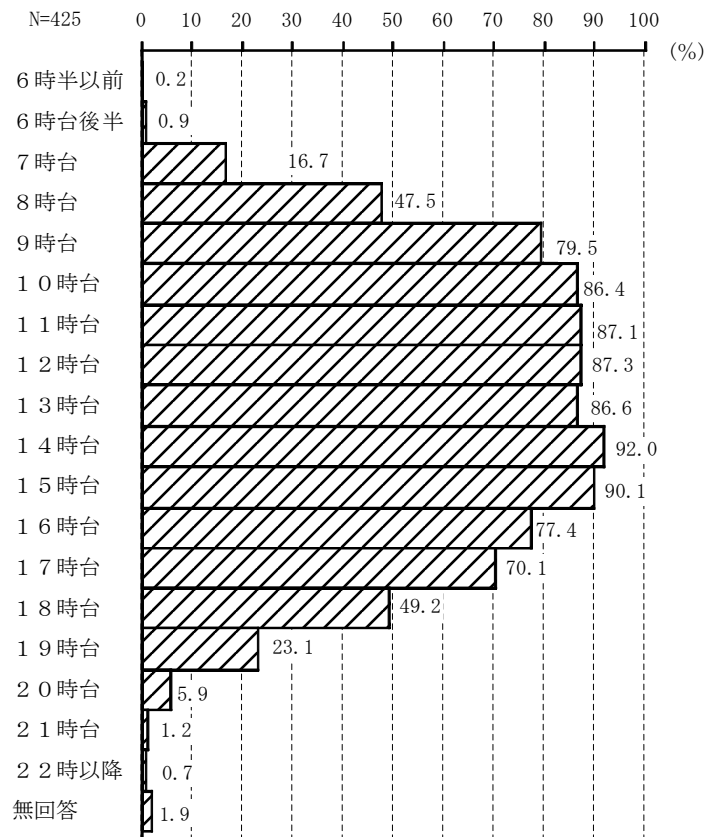
(3) 利用希望頻度、時間帯

問10 平日、調査対象のお子さんについて、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望は現在ありますか。利用したい場合、日数や時間帯、希望するサービスについて、お答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 2-3-1 【利用希望頻度】



図表 2-3-2 【利用希望時間帯】



平日の保育サービスの利用希望頻度は、週に「5日」が65.4%で最も多く、次いで「1～2日」の18.8%、「3～4日」の12.5%となっている（図表2-3-1）。利用希望時間帯は、9時台から15時台に集中している（図表2-3-2）。

認可保育所や幼稚園などの保育サービスは利用頻度として「5日」が多く、ベビーシッターや家政婦、ファミリーサポートセンター事業は「1～2日」の短期的な利用を望む人が多くなっている（図表2-3-3,4）。

図表 2-3-3 利用希望頻度（希望サービス別）

	N	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 日	無 回 答
認可保育所	235	12.3	11.1	74.9	1.7
幼稚園（預かり保育を含む）	139	22.3	12.9	61.9	2.9
認可外保育施設（簡易保育所）	3	33.3	-	66.7	-
保育ママ	8	37.5	12.5	25.0	25.0
事業所内保育施設	1	-	100.0	-	-
その他認可外保育施設	2	50.0	-	50.0	-
ベビーシッター、家政婦、ヘルパー	10	60.0	20.0	20.0	-
ファミリーサポートセンター事業	7	57.1	14.3	28.6	-

図表 2-3-4 利用希望時間帯（希望サービス別）

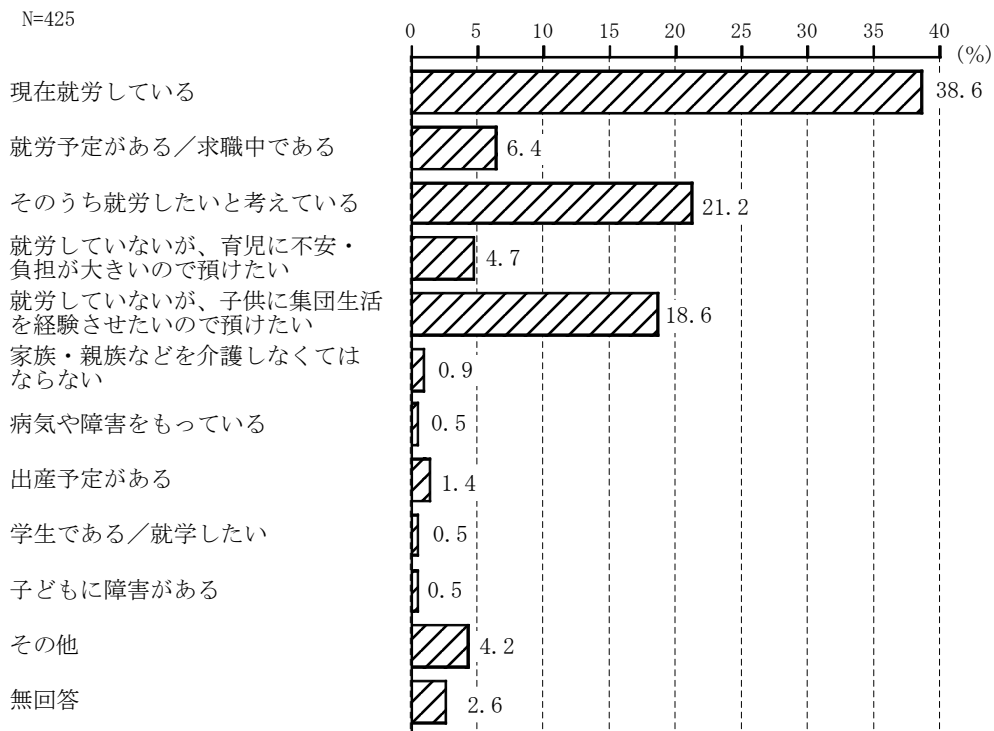
	N	6 時 半 以 前	6 時 台 後 半	7 時 台	8 時 台	9 時 台	1 0 時 台	1 1 時 台	1 2 時 台	1 3 時 台	1 4 時 台
認可保育所	235	-	0.9	26.4	66.0	90.2	96.6	97.0	97.0	95.3	96.2
幼稚園（預かり保育を含む）	139	0.7	1.4	5.0	28.1	74.1	79.9	81.3	81.3	79.9	95.7
認可外保育施設（簡易保育所）	3	-	-	33.3	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7
保育ママ	8	-	-	-	12.5	37.5	62.5	62.5	62.5	75.0	75.0
事業所内保育施設	1	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
その他認可外保育施設	2	-	-	-	-	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ベビーシッター、家政婦、ヘルパー	10	-	-	-	10.0	20.0	40.0	50.0	50.0	60.0	70.0
ファミリーサポートセンター事業	7	-	-	-	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	42.9	42.9

	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 台	2 1 時 台	2 2 時 以 降	無 回 答
認可保育所	95.3	89.4	86.0	67.2	32.8	7.2	0.9	-	0.9
幼稚園（預かり保育を含む）	89.2	64.7	53.2	23.0	5.0	1.4	-	-	0.7
認可外保育施設（簡易保育所）	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
保育ママ	87.5	62.5	37.5	37.5	25.0	-	-	-	12.5
事業所内保育施設	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他認可外保育施設	100.0	100.0	00.0	50.0	-	-	-	-	-
ベビーシッター、家政婦、ヘルパー	80.0	70.0	60.0	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-
ファミリーサポートセンター事業	57.1	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	-

(4) 預けたい理由

問10-1 お子さんを預けたい理由について、主なもの1つに○をおつけください。

図表 2-4-1

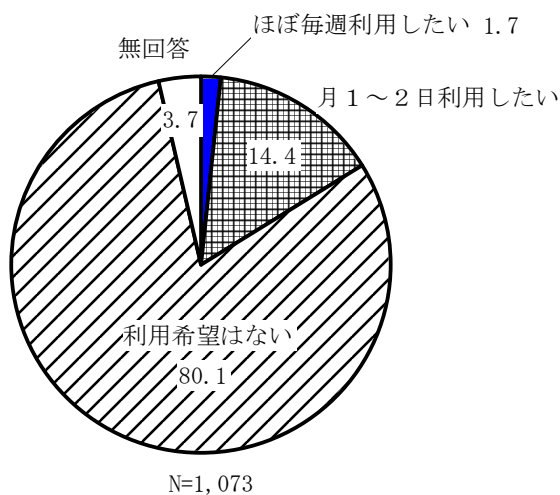


子どもを預けたい理由として、「現在就労している」が 38.6%で最も多い。次いで「そのうち就労したいと考えている」が 21.2%、「就労していないが、子どもに集団生活を経験させたいので、子どもを預けたい」が 18.6%の順で高くなっている（図表 2-4-1）。

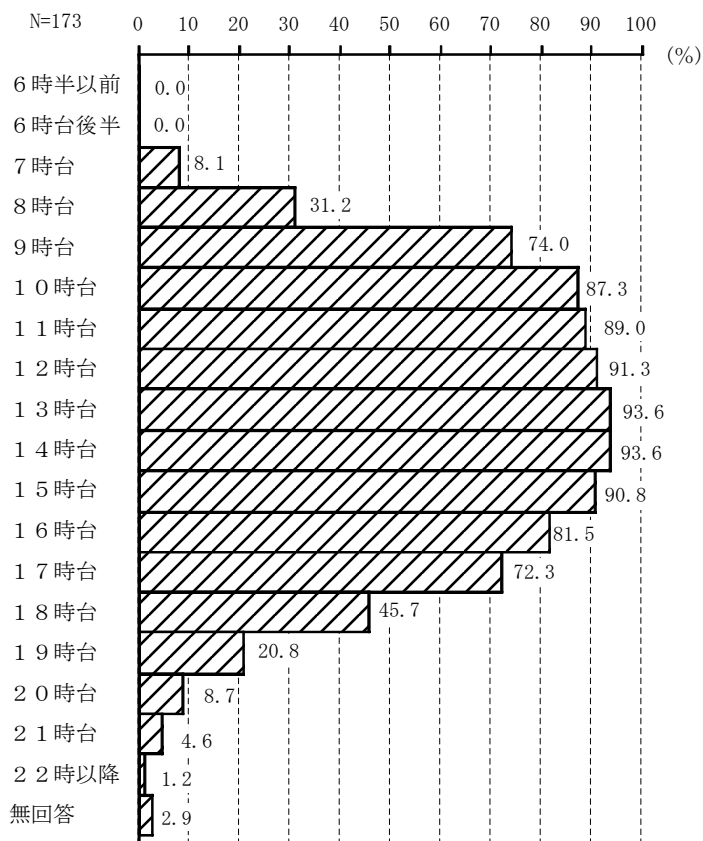
〔3〕 休日保育に対する利用意向

問 1 1 日曜日・祝日、調査対象のお子さんについて、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望は現在ありますか。利用したい場合、利用したい頻度や時間帯についてお答えください。なお、時間については24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。

図表 3-1 【日曜日・祝日の利用希望】



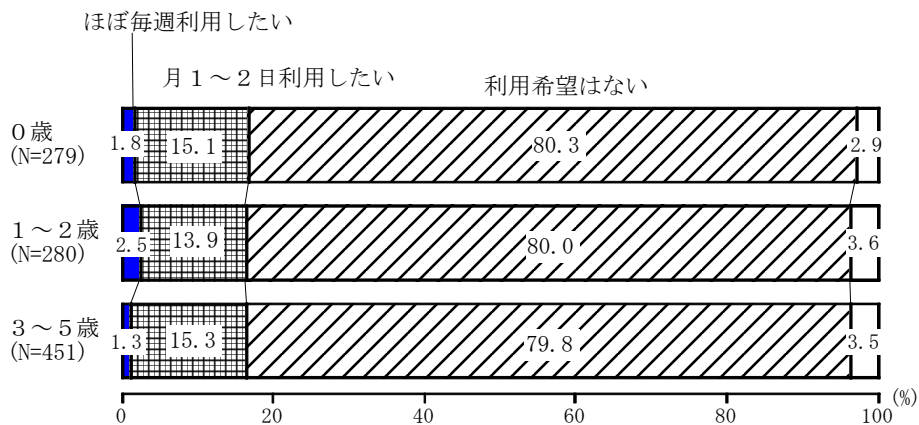
図表 3-2 【希望保育時間帯】



休日保育に対する利用意向は、「利用希望はない」が 80.1%で大半を占める。利用希望者は「月 1～2 日」を希望する人が多い（図表 3-1）。希望する時間帯は、9 時台から 17 時台が多くなっている（図表 3-2）。

休日保育の利用希望を子どもの年齢別で見ると、いずれも 8 割が「利用希望はない」と答えている。利用希望者は少なく、利用するとしても「月 1～2 日利用したい」という人が 1 割程度である（図表 3-3）。

図表 3-3 日曜日・祝日の利用希望（子どもの年齢別）

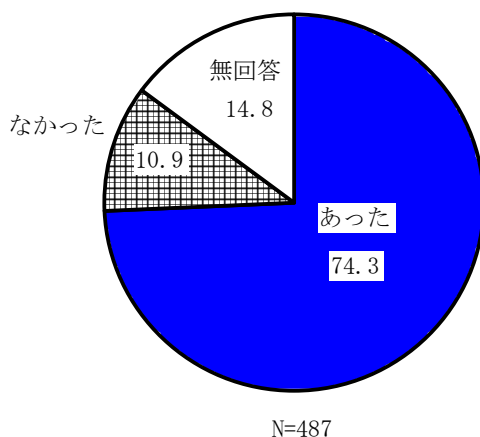


〔4〕 病児保育に対する利用意向

(1) 子どもが病気で保育施設を休んだ経験

問12 この1年間に、お子さんが病気で認可保育所、幼稚園、認可外保育施設、事業所内保育施設を休まなければならなかったことがありましたか。

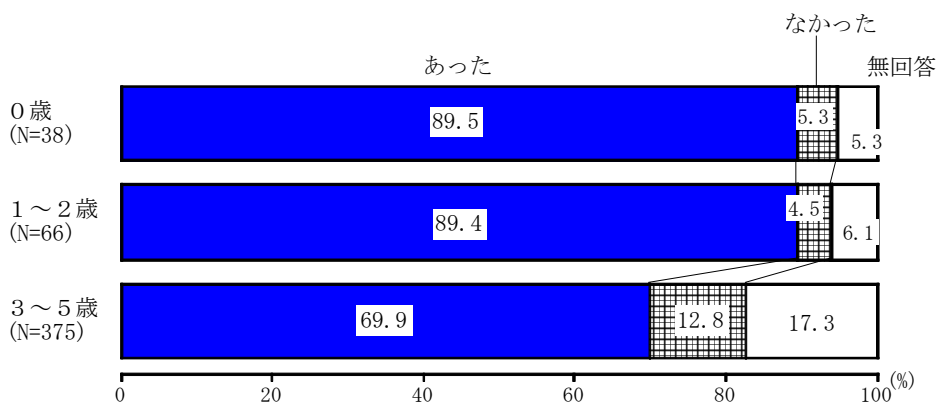
図表 4-1-1



子どもが病気で保育施設を休んだ経験が「あった」という人は74.3%となっている(図表4-1-1)。

子どもの年齢別でみると、0～2歳の低年齢児では9割前後が経験している(図表4-1-2)。

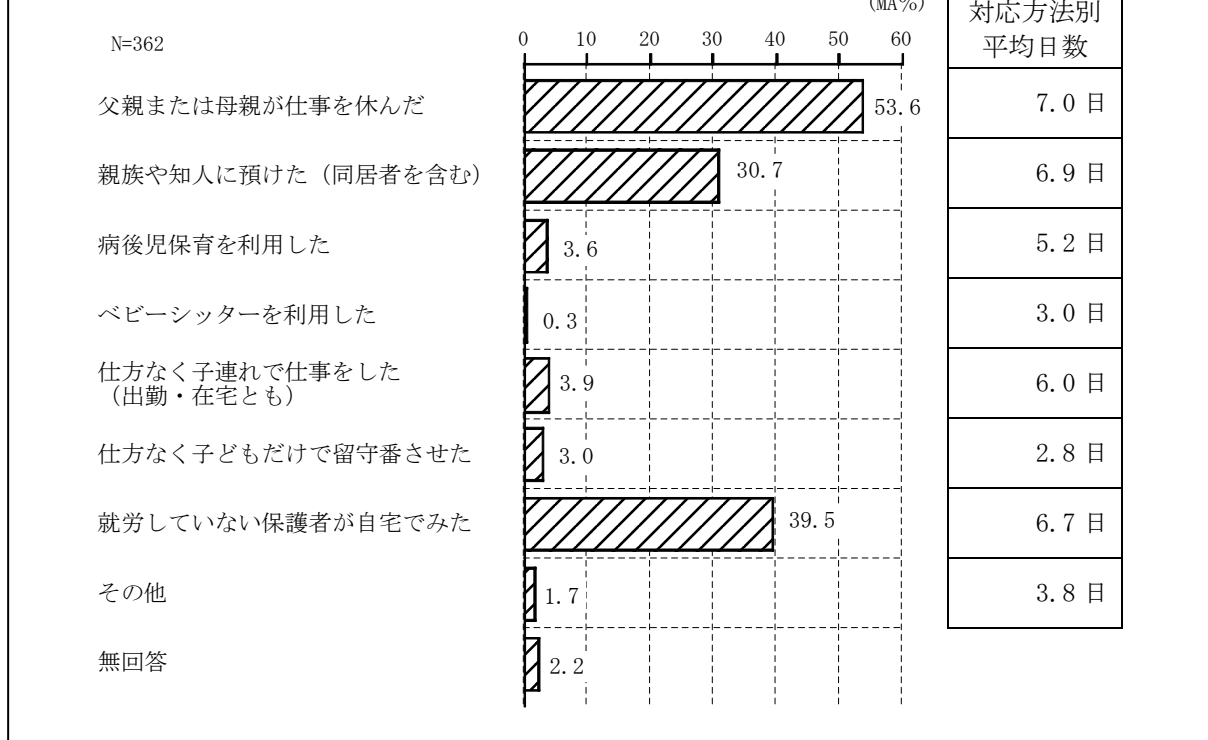
図表 4-1-2 子どもが病気で保育施設を休んだ経験 (子どもの年齢別)





(2) 対処方法と日数

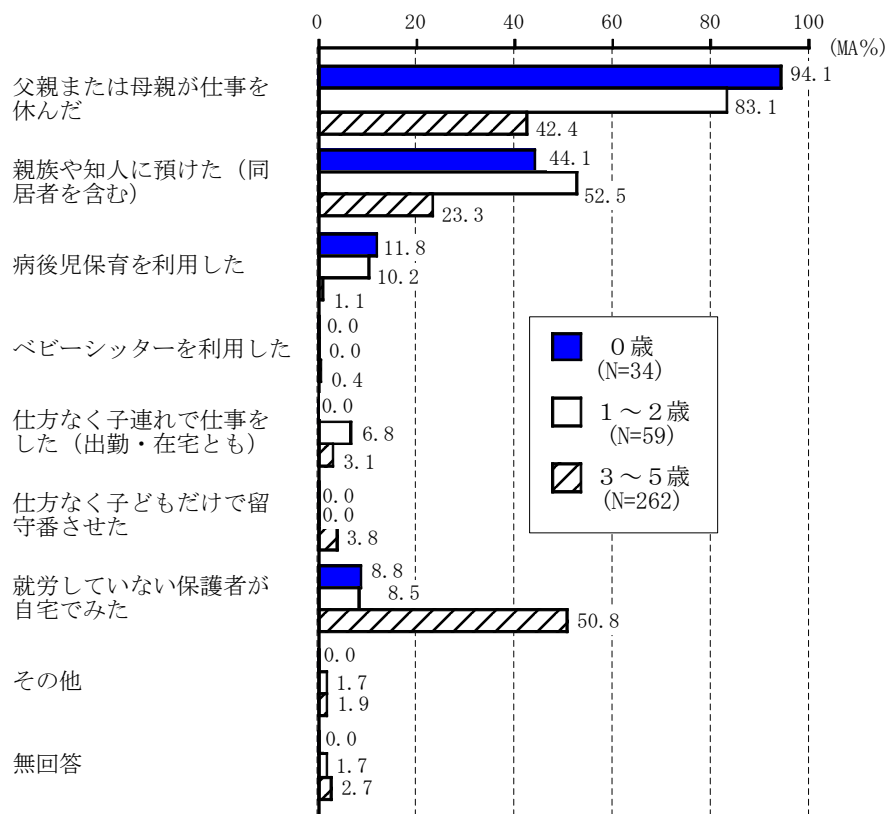
問 1 2 - 1 この 1 年間の対処方法について、あてはまるものすべてに○をつけ、  
それぞれの日数をお答えください。



子どもが病気になった時の対処法として多く挙げられているのは「父親または母親が仕事を休んだ」が 53.6%が多く、「就労していない保護者が自宅でみた」(39.5%)、「親族や知人に預けた (同居者を含む)」(30.7%) なども多くなっている (図表 4-2-1)。

子どもの年齢別で見ると、0～2 歳児は父親または母親が仕事を休むことで対応している場合が多く、親族や知人に預けたり、病後児保育を利用する世帯も比較的多い。一方、3～5 歳は、「就労していない保護者が自宅でみた」(50.8%) が一番高く、次いで「父親または母親が仕事を休んだ」「親族や知人に預けた (同居者を含む)」の順となっている (図表 4-2-2)。

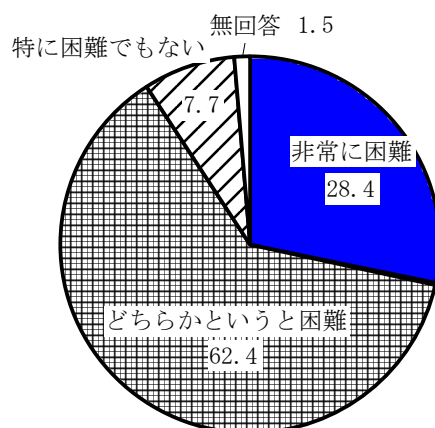
図表 4-2-2 対処方法（子どもの年齢別）



(3) 対処にあたっての困難さ

問12-2 父親または母親が仕事を休むことは困難でしたか。

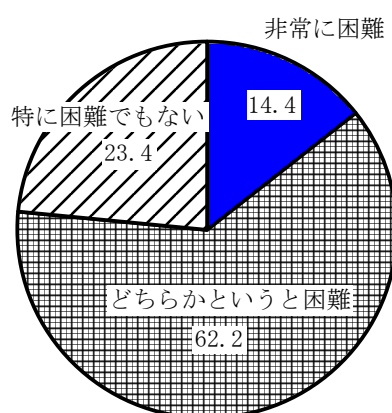
図表 4-3-1



N=194

問12-3 親族・知人（同居者を含む）に預けることは困難でしたか。

図表 4-3-2



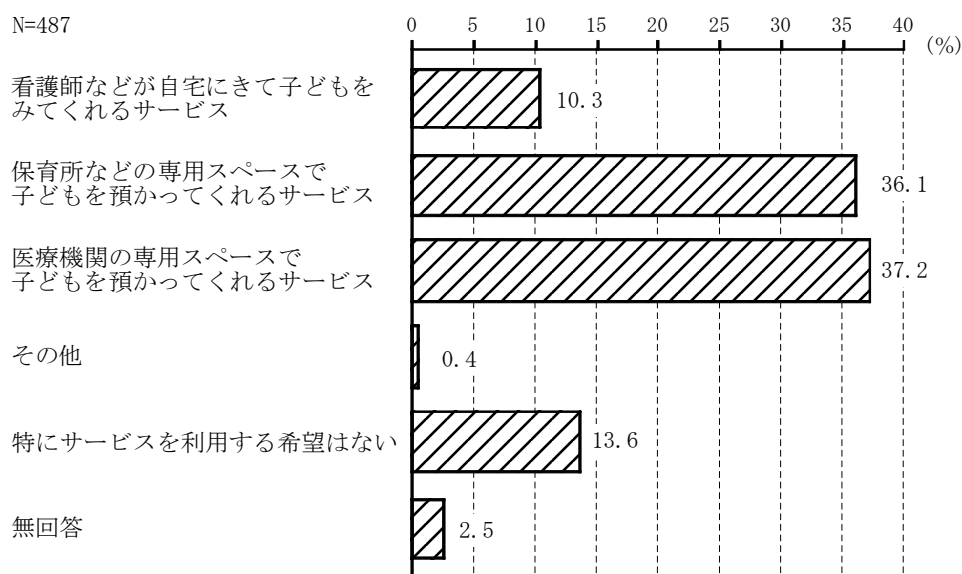
N=111

父親または母親が仕事を休むことについての困難さは、「どちらかという困難」が62.4%で、「非常に困難」の28.4%を合わせると、90.8%の世帯では休みにくい状況の中、対応している（図表 4-3-1）。また、親族・知人（同居者を含む）に預けることについては、「どちらかという困難」が62.2%、「非常に困難」が14.4%で、76.6%は頼みにくい状況にある（図表 4-3-2）。

#### (4) 病児保育の利用条件

問 1 3 お子さんが病気や病気回復期であり、家族が面倒をみるのが困難な場合に、医療機関との連携のもとに看護師などが預かるサービスがあるとしたら、どのような条件の場合に利用したいと思いますか。主なもの1つに○をおつけください。

図表 4-4-1



希望する条件として、「医療機関の専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」が37.2%で最も多く、次いで「保育所などの専用スペースで子どもを預かってくれるサービス」(36.1%)、「看護師などが自宅にきて子どもをみてるサービス」(10.3%)の順となっている(図表4-4-1)。

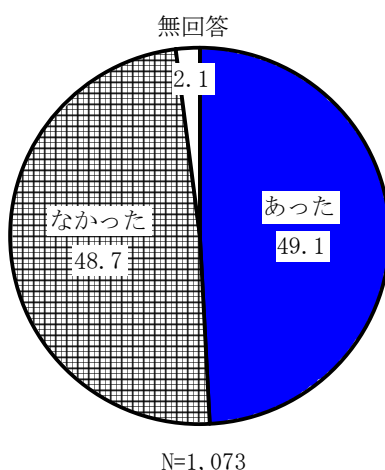
〔5〕一時預かりに対する利用意向

(1) 緊急時の保育サービスの利用意向

(ア) 保育者が緊急の用事で子どもの面倒をみれなくなった経験

問14 この1年間に、平日又は土曜日・休日に関係なく、緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）で、お子さんの面倒をふだんみている方が、日中面倒をみられなくなったことがありましたか。

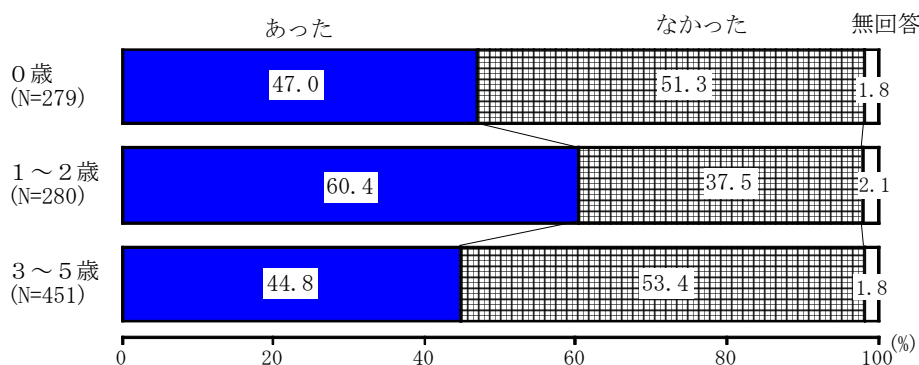
図表 5-1-1



緊急の用事で子どもの面倒をみられなくなった経験のある人は49.1%となっている（図表 5-1-1）。

子どもの年齢別では、「1～2歳」で面倒をみられなくなった経験が60.4%で最も多い（図表 5-1-2）。

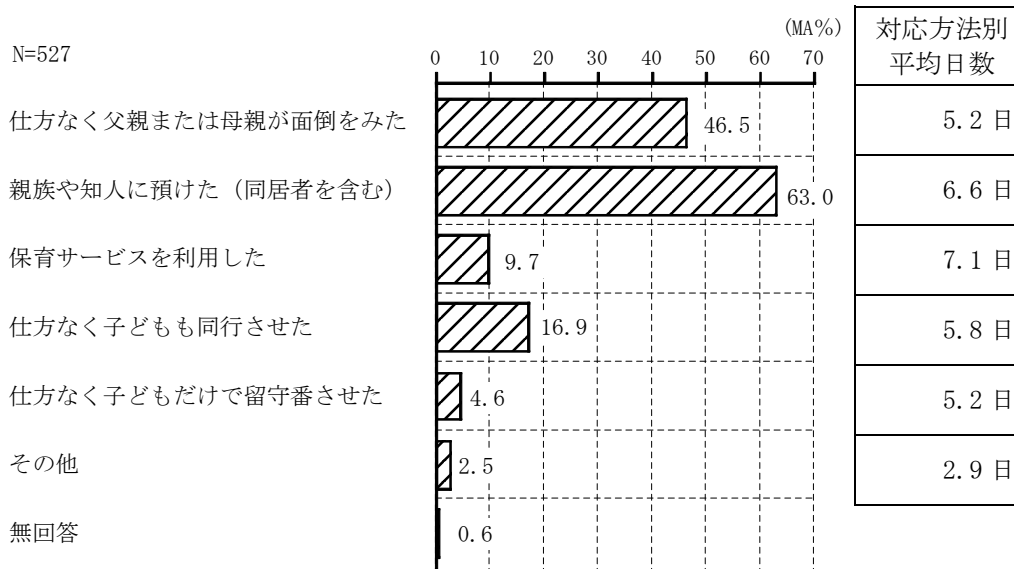
図表 5-1-2 保育者が緊急の用事で子どもの面倒をみられなくなった経験（子どもの年齢別）



(イ) 対処方法と日数

問14-1 この1年間の対処方法について、あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数をお答えください。

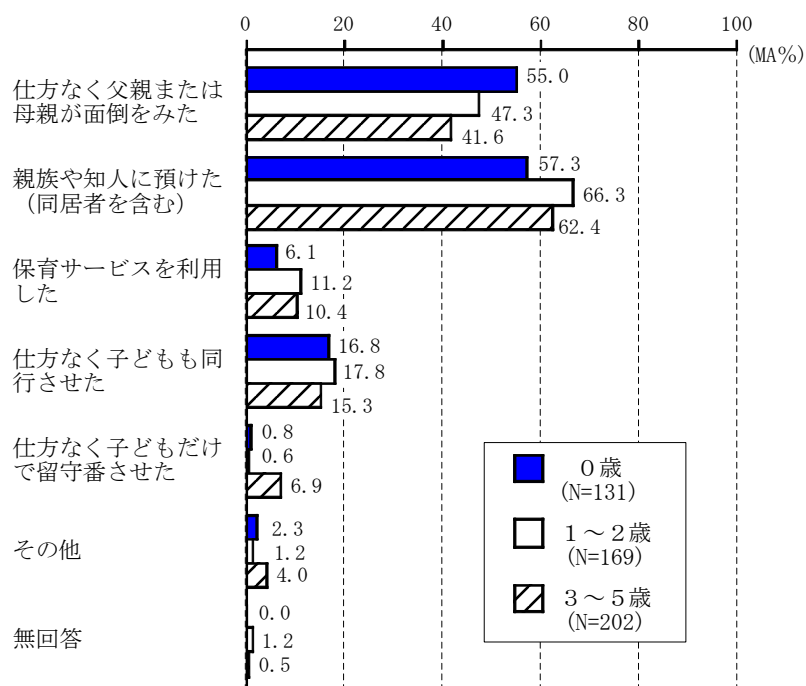
図表 5-1-3



この1年間の対処法は、「親族や知人に預けた」が 63.0%で最も多く、次いで「仕方なく父親または母親が面倒をみた」が 46.5%となっている（図表 5-1-3）。

子どもの年齢別でも、「仕方なく父親または母親が面倒をみた」「親族や知人に預けた（同居者を含む）」が高く、どの年齢についても同様の傾向がみられる（図表 5-1-4）。

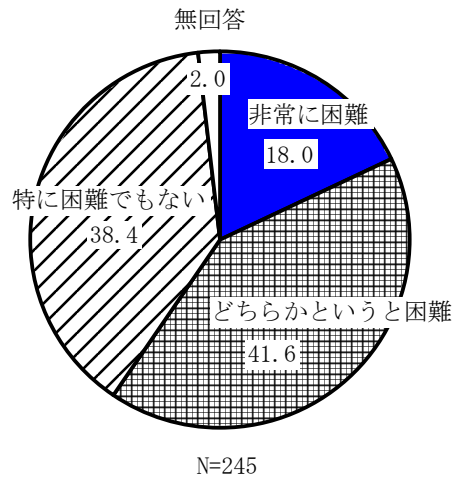
図表 5-1-4 対処方法（子どもの年齢別）



(ウ) 対処にあたっての困難さ

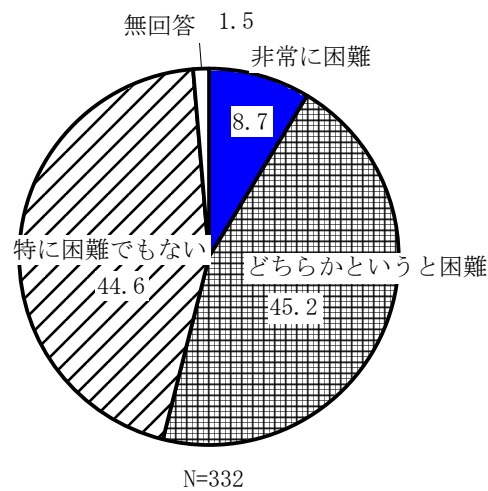
問14-2 父親または母親がみることは困難でしたか。

図表 5-1-5



問14-3 親族・知人（同居者を含む）に預けることは困難でしたか。

図表 5-1-6



父親または母親がみることは「どちらかという困難」が 41.6%で最も多く、「非常に困難」の 18.0%を合わせると、59.6%は困難の状況の中、面倒をみている（図表 5-1-5）。

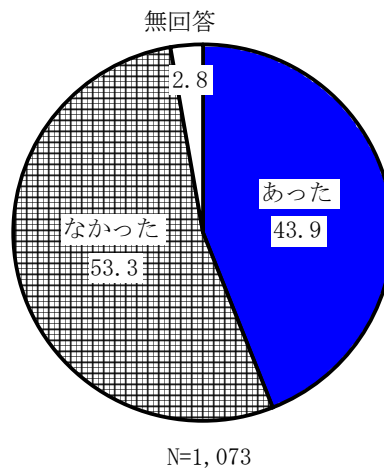
また、親族・知人（同居者を含む）に預けにくいという意見も半数を超える（「どちらかという困難」45.2%と「非常に困難」8.7%の合計／図表 5-1-6）。

(2) リフレッシュサービス利用意向

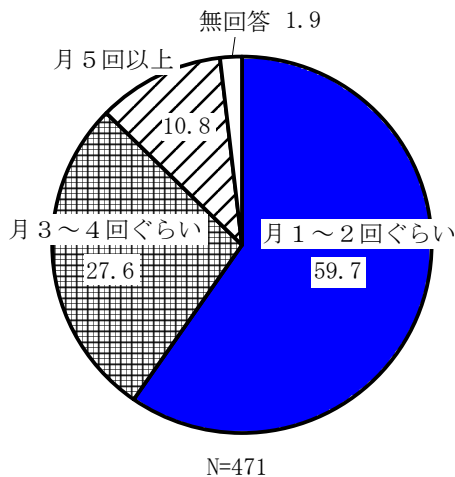
(ア) 子育てから離れてリフレッシュしたいと思ったことの有無（日数、時間）

問15 この1ヶ月の間に、平日又は土曜日・休日に関係なく、ふだん利用していない保育サービス（認可保育所・認可外保育施設・ベビーシッター、ファミリーサポートセンター事業など）を利用して、子育てから離れてリフレッシュしたいと思ったことがありますか。あった場合は、日数と平均的な時間をお答えください。

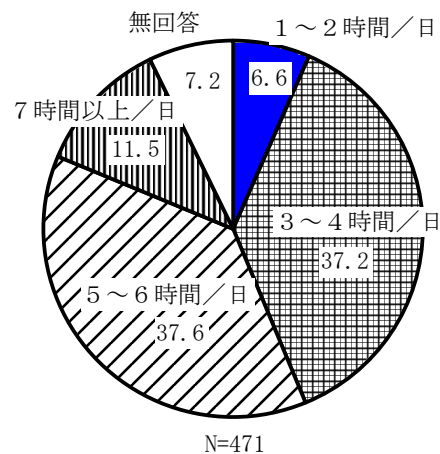
図表 5-2-1 【リフレッシュしたいと思ったこと】



図表 5-2-2 【リフレッシュしたい回数】



図表 5-2-3 【リフレッシュしたい時間】



子育てから離れてリフレッシュしたいと思ったことが「なかった」が53.3%で半数を超えているものの、「あった」が43.9%を占めている（図表 5-2-1）。

リフレッシュしたいと思った回数として、「月1～2回ぐらい」が59.7%で過半数を占め、次いで「月3～4回ぐらい」が27.6%、「月5回以上」が10.8%の順となっている（図表 5-2-2）。

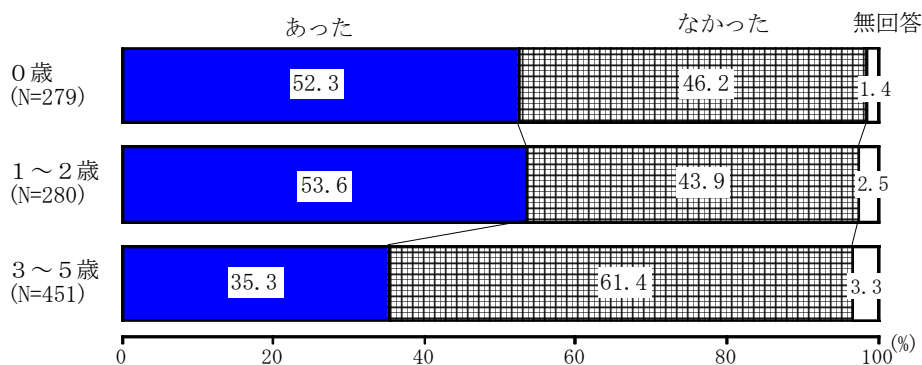
リフレッシュしたい時間は、1日に「5～6時間」「3～4時間」が各々37.6%、37.2%でほぼ同率で、次いで「7時間以上」11.5%、「1～2時間」（6.6%）の順となっている（図表



5-2-3)。

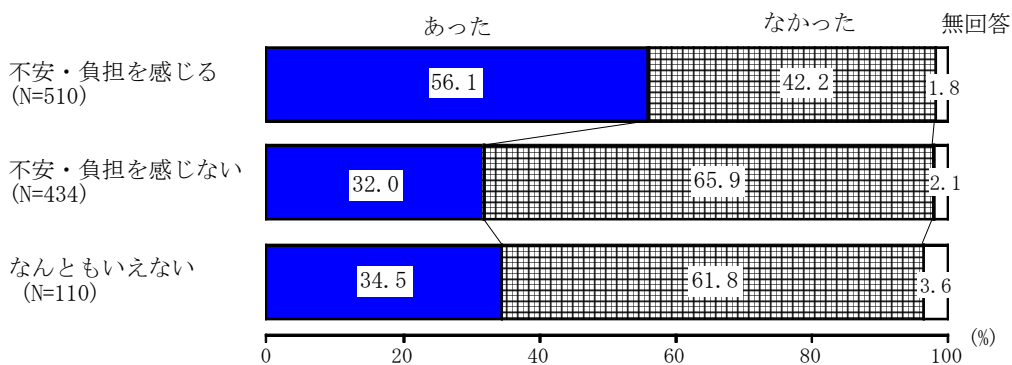
子どもの年齢別にみると、「あった」は0歳～2歳児で5割を超えている。一方、育児の負担が乳幼児に比べ軽減されると考えられる年代層の3～5歳は、35.3%とその割合はやや減少している（図表 5-2-4）。

図表 5-2-4 子育てから離れてリフレッシュしたいと思ったことの有無（子どもの年齢別）



子育てに対し、「不安・負担を感じる」と回答した人でリフレッシュしたいと思ったことがあるとの割合が56.1%と高くなっている（図表 5-2-5）。

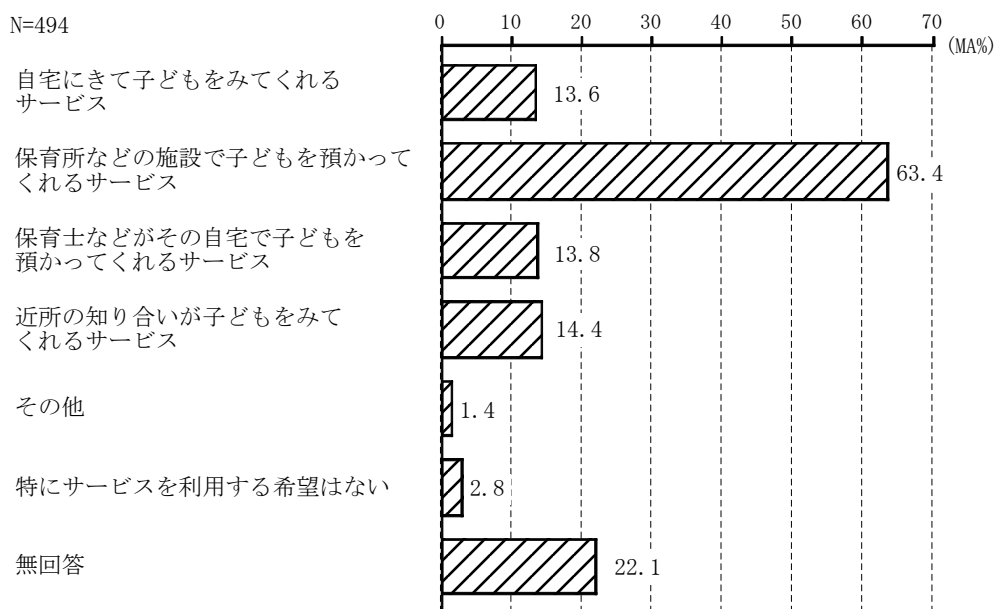
図表 5-2-5 子育てから離れてリフレッシュしたいと思ったことの有無（子育てに対する負担感の有無別）



(イ) 子どもを預かるサービスで利用したいもの

問 1 6 お子さんを預けるサービスがあった場合、どのようなサービスを希望しますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

図表 5-2-6

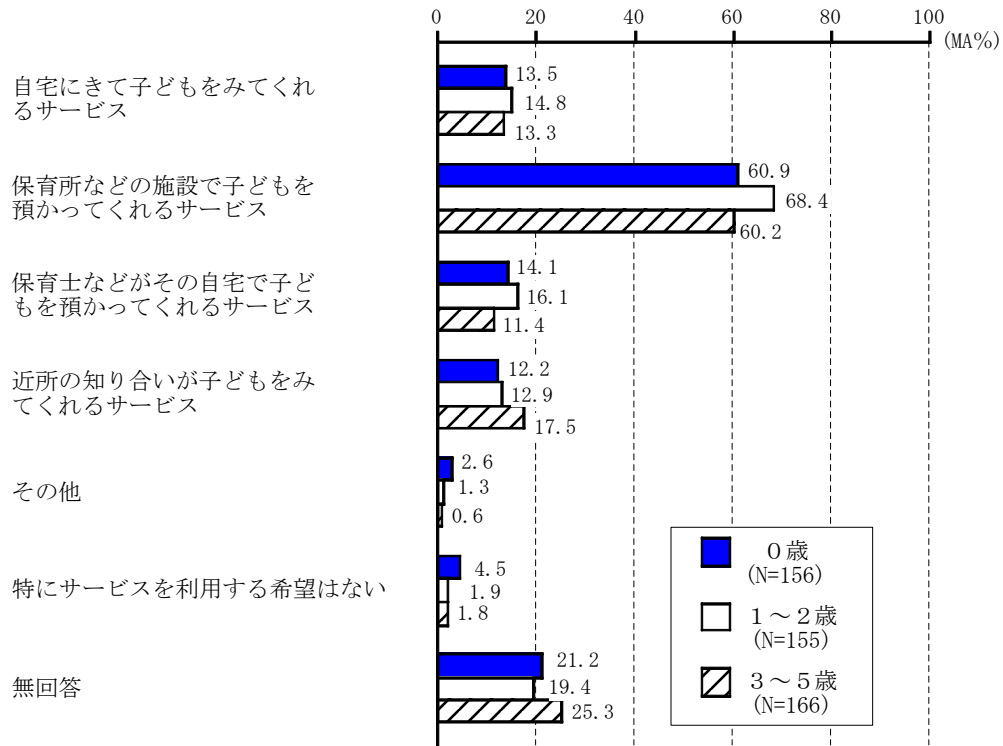


一時的に子どもを預かるサービスで希望が多いものは、「保育所などの施設で子どもを預かってくれるサービス」(63.4%)で、次いで「近所の知り合いが子どもをみてくれるサービス」(14.4%)、「保育士などがその自宅で子どもを預かってくれるサービス」(13.8%)、「自宅にきて子どもをみてくれるサービス」(13.6%)の順となっている(図表 5-2-6)。

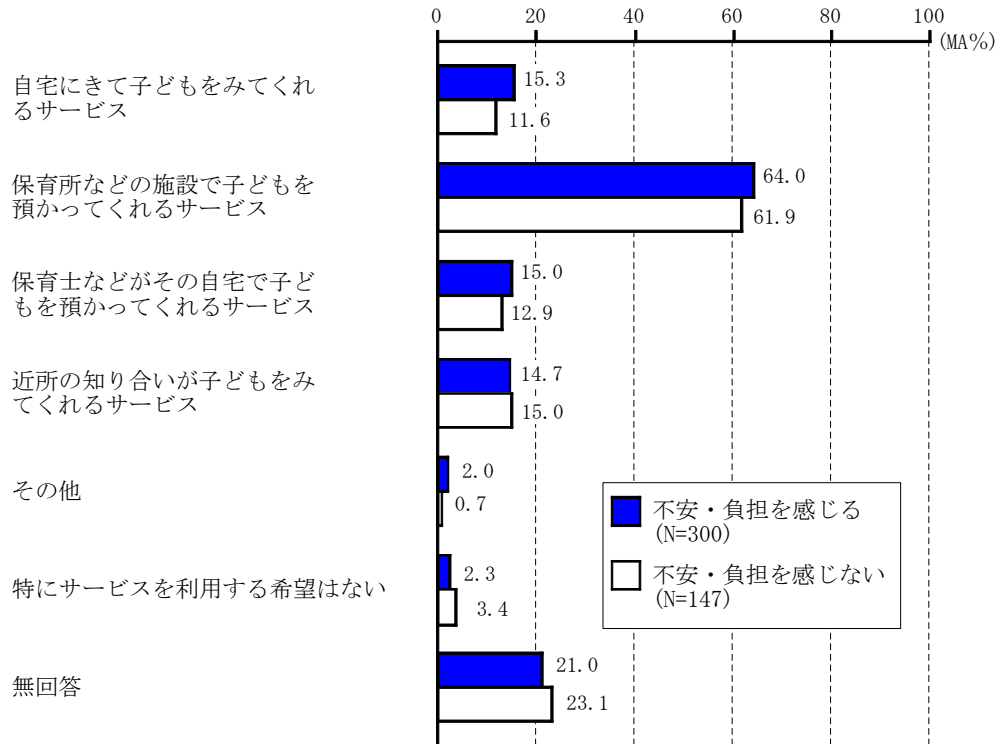
子どもの年齢別でみると、いずれの年代も「保育所などの施設で子どもを預かってくれるサービス」が多く、0～2歳の割合がやや高い(図表 5-2-7)。

また、子育てに対する負担感の有無別でみると、不安・負担を感じると答えた人は、「保育所などの施設で子どもを預かってくれるサービス」が64.0%で最も多く、次いで「自宅にきて子どもをみてくれるサービス」(15.3%)、「保育士などがその自宅で子どもを預かってくれるサービス」(15.0%)の順で多い。一方、「不安・負担を感じない」と答えた人は、「保育所などの施設で子どもを預かってくれるサービス」が61.9%と同様に高く、次いで「保育士などがその自宅で子どもを預かってくれるサービス」(12.9%)、「自宅にきて子どもをみてくれるサービス」(11.6%)の順で多くなっている(図表 5-2-8)。

図表 5-2-7 子どもを預かるサービスで利用したいもの（子どもの年齢別）



図表 5-2-8 子どもを預かるサービスで利用したいもの（子育てに対する負担感の有無別）

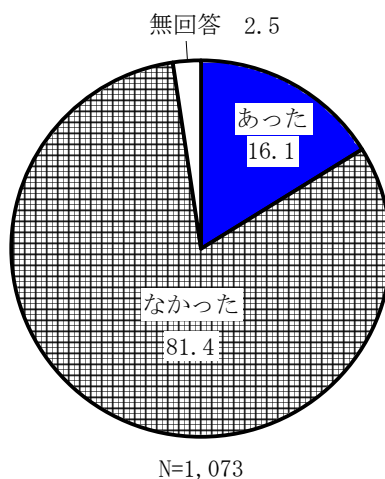


(3) ショートステイサービス利用意向

(ア) 保護者が用事で子どもを泊りがけで預けた経験

問17 この1年間に、保護者の用事などによりお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

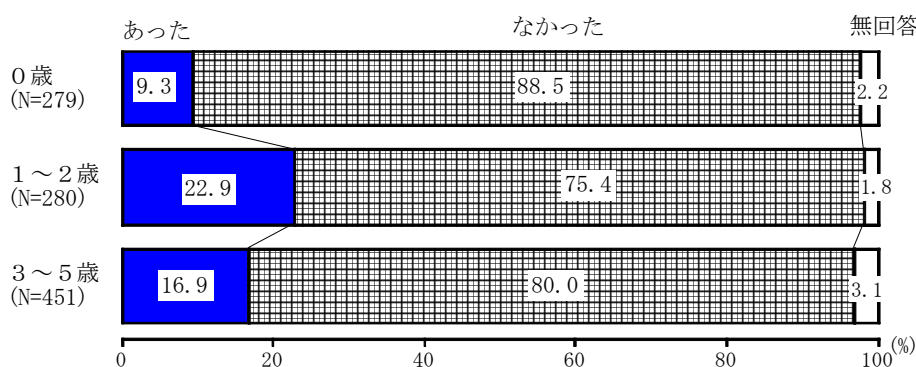
図表 5-3-1



子どもを泊りがけで預けた経験は、「あった」は 16.1%で、「なかった」(81.4%) が大半を占める (図表 5-3-1)。

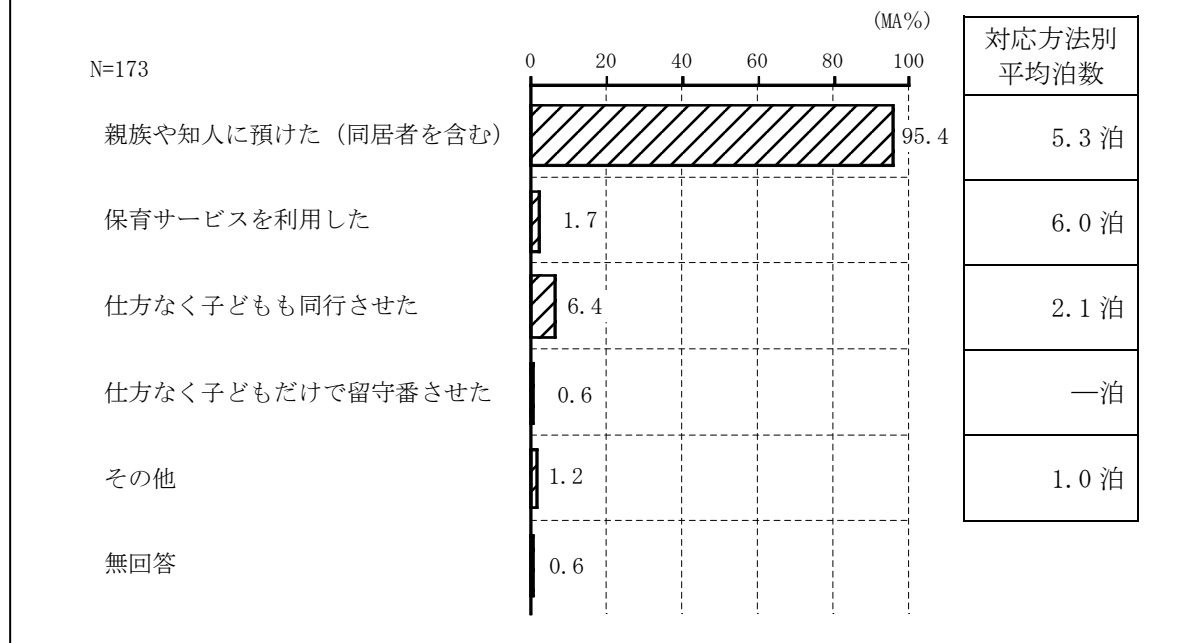
子どもの年齢別では、「あった」の回答はいずれも 2 割前後となっているが、そのなかでも「1～2歳」が 22.9%で比較的高くなっている (図表 5-3-2)。

図表 5-3-2 保護者が用事で子どもを泊りがけで預けた経験 (子どもの年齢別)



(イ) 対処方法と泊数

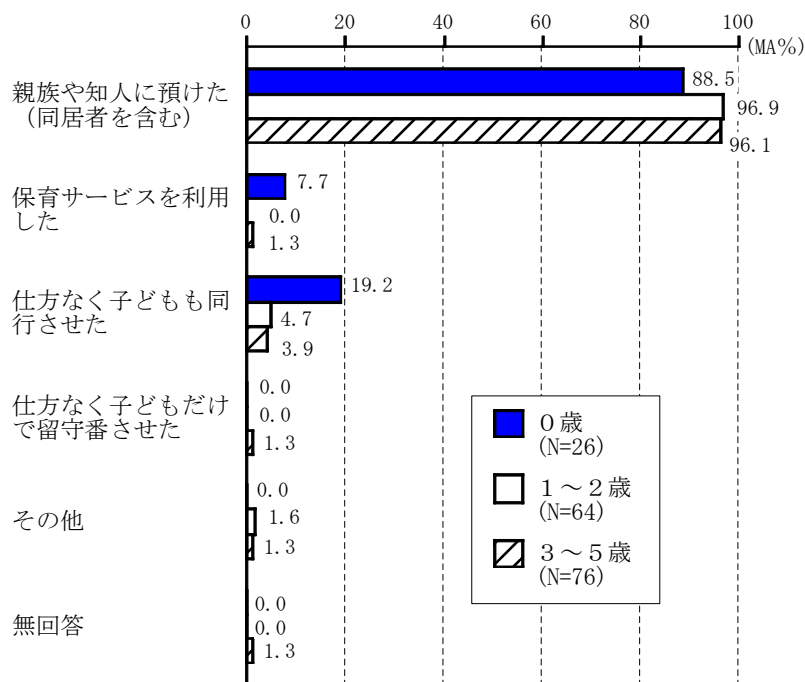
問 1 7 - 1 この 1 年間の対処方法について、あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数をお答えください。



対処法としては、「親族や知人に預けた」が 95.4%で最も多く、次いで「仕方なく子どもも同行させた」の 6.4%となっている (図表 5-3-3)。

また、0 歳児の場合は、保育サービスを利用したり、仕方なく子どもも連れて行ったという世帯も 1 割程度みられる (図表 5-3-4)。

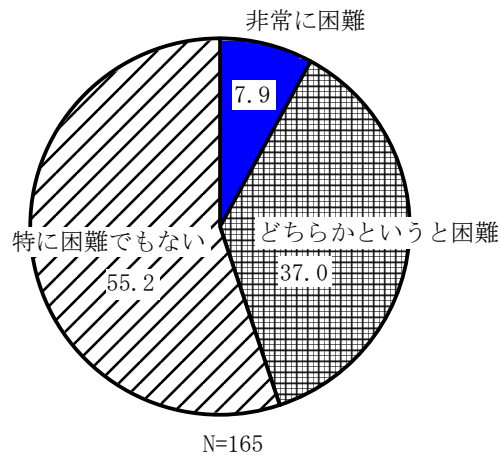
図表 5-3-4 対処方法 (子どもの年齢別)



(ウ) 対処にあたっての困難さ

問17-2 親族・知人（同居者を含む）に預けることは困難でしたか。

図表 5-3-5



子どもを親族・知人に預けることは「特に困難でもない」と回答した人が 55.2%で過半数となているものの、預けにくいという意見も 44.9%みられる（「どちらかというと困難」37.0%と「非常に困難」7.9%の合計／図表 5-3-5）。